

まるりん通信

公益財団法人 屋久島環境文化財団 TEL 0997-42-2911 FAX 0997-49-1018



むらせん祭り 日時:7月22日(日)13:30~16:30

- ☆紙コップロケット作り・・・紙コップでオリジナルのロケットを作ろう!
- ★おもしろ自然工作・・・自然のもので発想豊かに、色々な工作を!
- ☆オリジナルうちわ作り・・・うちわにお絵かき!夏に重宝するうちわ作り!
- ★まるりん撮影会・・・まるりんと一緒に写真を撮ろう!写真はそのまま缶バッジに!
- ※駐車場は、ライフセンターヤクデン第2駐車場をご利用ください。

参加費無料!
予約不要だよ!



映画上映会 日時:7月22日(日)17:30~19:00



【予約方法】

- 方 法: 電話受付のみ(42-2900)
- 予約期間: 7月12日(木) 14:00~(定員に達し次第終了)
- 定 員: 先着230名様。車椅子用スペース有。
- ※予約1件につき最大5名様までとなります。予約時に入場者全員の氏名が必要です。電話予約の際に、入場券受け取り場所[村センター(宮之浦)または研修センター(安房)]をご指定いただき、下記期間中に、ご指定施設にて入場券をお受け取りください。
- 入場券受け取り期間: 7月19日(木)~7月21日(土)
- 各日 10:00~17:00
- ※上映会当日、入場券をご持参いただけない場合は、ご入場できませんのでご注意ください。

平成30年度 第2回 屋久島研究講座

- 第1部 講演
「ウィルソンが見た戦前の沖縄」ウィルソンがヤンバル(沖縄本島北部)で出会ったのは屋久島の風景だった。
講師 古居 智子氏(作家・ウィルソン研究家)
 - 第2部 パネルディスカッション
「琉球と屋久島 黒潮がむすんだ人と文化」
パネリスト 古居 智子氏 米倉 外昭氏 鎌田 道隆氏
- 日時: 7月21日(土) 19:00~21:00
会場: 屋久島環境文化村センター(宮之浦)



※一般の方の予約は必要ありません。受講証明書の必要なガイドの方は必ず前日までに予約をしてください。

【同時開催】「ウィルソンが見た沖縄」屋久島巡回展

- 日時: 7月21日(土)~8月31日(金)
- 場所: 屋久島環境文化村センター交流ホール(宮之浦)

実物大の100年前の
ウィルソン株もやってきます

「屋久島和紙」研究会の展覧会=(8がつ展)

- 日時: 7月27日(金)~9月9日(日)
- 場所: 屋久島環境文化村センター交流ホール(宮之浦) 内容: 漉いた紙に絵や書をかいて展示



インストラクターだより

『茨の中の小さな宝石』

インストラクター 渡邊 卓実

屋久島の野山や道端でよく見かけるホウロクイチゴ、春の終りごろに実る甘い実を味わったことのある方も多いことと思います。

そのホウロクイチゴの葉をよく見ると、^{しよくこん}食痕（動物が食べた痕）が残っているものがよく見られます。ぽっかりと空いたその穴をあけた正体は、ルリナカボソタマムシという小さな昆虫で、青く輝くまるで宝石のサファイアのような美しい体色をしています。^{しよくこん}食痕でわかるように、主にホウロクイチゴ等のキイチゴ類を食べて暮らしています。

また、幼虫も同じようにホウロクイチゴを食べるのですが、成虫と違って葉を食べるのではなく、^{さなざ}茎の内部を食べて成長します。そして幼虫はそのまま茎の内部で蛹になり、成虫になります。このように、屋久島で暮らすほとんどのルリナカボソタマムシは、一生をホウロクイチゴと共に過ごす昆虫なのです。

もしかすると、皆様の周りに生えているホウロクイチゴにもルリナカボソタマムシが留まっているかもしれません。ぜひ「茨の中の小さな宝石」を探してみてください。



ルリナカボソタマムシ



ルリナカボソタマムシによる食痕

◆◇ 財団の活動報告 ◇◇

●屋久島エコ隊(6/2~6/3)

第1回屋久島子どもエコ隊を実施しました。今回は22名の隊員が集まり、キャンプを通して小さな植物への思いやりや新しい仲間と協力してテント泊や野外炊飯に挑戦しました。

参加した子ども達から「小さな命に感動した」「いろいろな子と知り合えてよかった」などの感想が聞かれました。



●自然体験活動指導者養成セミナー(6/16~6/17)

自然体験指導者養成セミナーを実施しました。このセミナーは NEAL リーダーの資格取得に向けて行われました。NEAL 上級指導者の資格を持つ福元豪士氏に講師をしていただき、座学から体験型の講座まで行われました。参加者同士の関わりも多く、笑顔たくさんの方のセミナーとなりました。



●研修センターオープンデー(6/24)

開館22周年記念「オープンデー」を実施しました。子どもから大人まで、自然や科学に対する興味・関心を高めてもらう目的で、ブースを作りました。

今年度は、実験コーナー「ちりめんモンスターをさがそう、きれいなスライム、シャボン玉づくり」、観察コーナー「きれいな虫の観察、鳥の羽観察や鳥の塗り絵」など、多くの人に満足してもらえるよう充実を図りました。

◆◇ 連載 屋久島を想う ◇◇

アテンダント 武次 奈々

地元の屋久島を離れて十年ぶりに屋久島へ戻ってきました。

今、文化村センターのアテンダントでお世話になり半年が過ぎようとしています。アテンダントの業務で、屋久島の概要を案内しますが、屋久島について学んでいくうちに、地元でありながら知らない事が多い事に気づきました。その中で、屋久島の山岳信仰の一つ、岳参りと言う行事があります。聞いた事はありましたが、その意味を学んでから、飾ってあるシャクナゲを見ると違って見えます。

まだまだ勉強不足ですが、ここで学び、屋久島の良さを、屋久島に来てくれた人達に伝えていけるよう努めていきたいです。

また、私のように屋久島の人間でありながら、屋久島を知らない地元の人達にも、関心を持ってもらえるとうれしいです。



【休館日のお知らせ(7・8月分)】

●村センター

7/2 (月)・7/9 (月)・7/17 (火)

※7月20日(金)から8月31日(金)までは、休まず開館いたします。

※7月21日(土)から7月31日(火)の期間は島民感謝デー！観覧料が無料になります。

●研修センター

7/2 (月)・7/9 (月)・8/13 (月)

